



天川神社は、平安時代の歴史書『日  
さんだいじつろく  
 本三代実録』にも登場する由緒ある神  
こごと むすびのみこと みょうけんのほしのかみ  
 社で、祭神は輿台産靈命、妙見星神、  
さかべのくろまるのみこと あめのこやねのみこと  
 酒部黒麿命、天児屋根命です。社伝  
あまがわおんたけさん  
 によれば、天川御嶽山に座す神、輿台産  
 靈命が天から降臨した地と言われており、  
 第12代景行天皇の皇子である神櫛王  
けいこうてんのう かんぐしおう  
 の3世孫、須売保礼命が国造となり、  
すめほれのみこと くにのみやつこ  
 当地に神、輿台産靈命を奉斎したといわ  
ておきほおいのみこと  
 れています。その際は、手置帆負命の  
えい  
 裔を長尾郷に招来し、大峡小峡の木を  
 伐り、御殿を築造しました。やはり景行天  
やまと たけるのみこと きびのあな  
 皇の皇子である日本武尊と、吉備穴  
とのたけひめ たけがしおう ちゅう  
 戸武媛の子である武彥王は、悪神を誅  
 した功により、讃岐に留まり、香川郡以西  
 の領有が許され、当社を崇敬したと伝わ  
 っています。7月には香川県指定無形民

俗文化財である「大川念仏踊」が奉納さ  
 れます。10月中旬には秋の例大祭が盛  
 大に行われ、奴、獅子舞、太鼓台が奉納  
 されます。

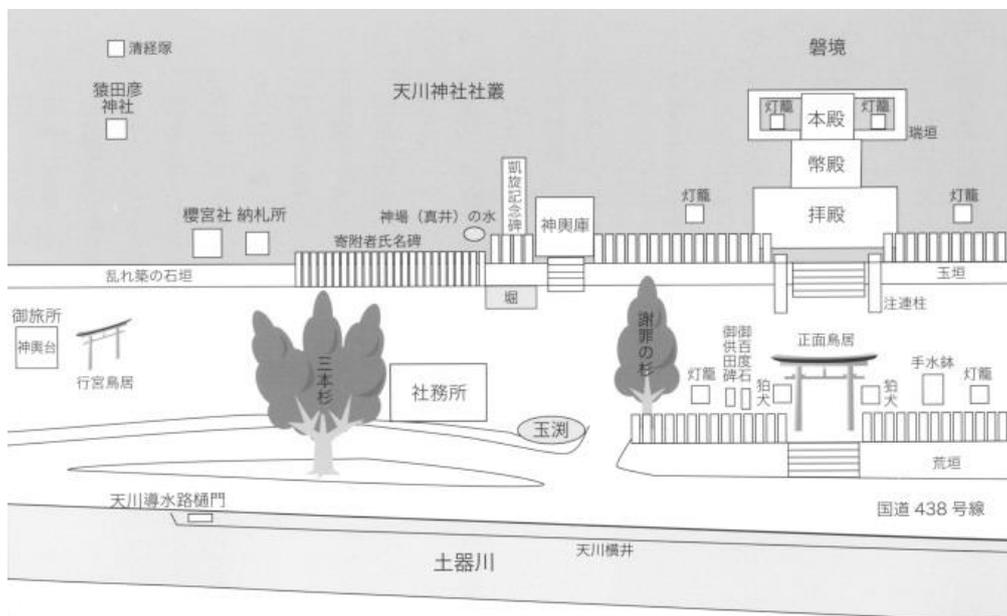
さかべのくろまる  
**酒部黒麿の伝説**

武彥王の4世孫である綾真玉の子、  
あやのまたま  
 酒部黒麿は城山長者と呼ばれていま  
 すが、天川神社にまつわる伝承が残って  
 います。その昔、天から星が落ちてきて少女  
 の姿になり、子がいなかった黒麿はこの  
 少女を天からの贈り物と喜び大切に育  
 てました。成人した少女は、当社境内の  
 湧き水で酒を作りました。この酒はとて  
 も美味しく、病人を治し、人を元気にさせ  
 たといわれています。

しゃそう  
**天川神社社叢**

(昭和55年12月17日 国の天然記  
 念物に指定)

天川神社の裏山に広がる面積約3ヘ  
 クタールの社叢には、およそ300種類に  
 及ぶ植物が繁茂しています。樹齢およそ  
 700年といわれるスギをはじめツブラジ  
 イやヤブツバキなどの常緑樹、タムシバ、  
 タラノキなどの落葉樹、シダ類や珍しいコ  
 ケ類が繁茂する貴重な原生林であること  
 が評価されています。



境内図



天川神社社叢



秋の例大祭



大川念仏踊の奉納